

域の方に頼んでいる。

■地域整備課：一般会計

Q：町づくり交付金事業が22年度で1期終了とある。この事業は地域の提案事業など広く利用できる。次の目標はどうか。

A：土樽西地区は22年度が最終、三俣は平成23年度から使える事業は積極的に活用したい。各種の国庫補助事業は、社会資本整備総合事業交付金に統合される。

Q：町づくり交付金事後評価の委託料250万円の使途は。

A：一般的土木コンサルタント、都市計画コンサルタントに評価を委託した結果、評価が妥当かを検討するのが評価委員会になろうかと思う。

Q：2億357万9千円の22年度の除雪予算は例年に比べ少ない。県は少雪に対応して待機料を見てくれ固定費を費やしている。機械の減価償却1/2やパトロールの経費を含める流れは町も同様か。

A：除雪予算は前年度の決算ベースで算出している。除雪費は県に準じ機械の固定費をウエートをおき、除雪機械の稼働時間の単価を下げ少雪時の待機料に配慮した形になっている。

Q：交通安全施設のガードケー

ブルの修繕に景観にマッチした色彩で22年度も行うのか。

A：今後も実施する。

Q：三俣地域振興対策費の国県支出金5120万円の充当先は何か。

A：国県補助事業3800万円は町並環境整備事業の下水道整備に、1200万円は町づくり交付金事業の道の駅関連事業に充当する。120万円の県事業は町に補助金として道の駅一体事業に足湯設計委託料として出している。

■上下水道課：下水道特別会計

Q：下水道事業団に委託する工事費は、21年度の入札の結果、8800万円減じた委託契約になっているはずだ。22年度の8590万円の債務負担行為額は確定しているのか。

A：浄化センター改修工事の減額8800万円は、22年度の12月議会に協定の変更議案を提出したい。23年度見込みを事業団と委託協定を結びたい。また、補助内示を受け次第補正予算を計上したい。

■上下水道課：水道事業会計

Q：3億2千万円の現金が残っている優良会計に水道料金の値上げは難しい。マンションへの給水を踏まえ、今後の展開をどのように考えているか。

A：人件費の節減に努め3億円の現金が残っていることから、暫くは値上げしなくても済むが、有収水量の減少、マンションへの給水するかは未知数であるので、そのまま推移を見守りたい。

■議会事務局：一般会計

意見：町にある各新聞配給所の配達部数を以前調査を求めている。議会だよりの印刷部数の節減にも繋がるので、是非調査して欲しい。

■監査委員：一般会計

・質疑なし

■健康福祉課：一般会計

Q：二地域居住、マンション定住の促進した結果、高齢者の人口が増えた。こうした人達をケアする時に来ている。現在の現状と今後どう考えているか。

A：マンションの定住人口は約700人。都会の若手が購入して老人が住んでいる現状から、二地域居住からいろんな問題に町全体の課題として捉えていかなければならない。

Q：シルバー人材センターの委託している現状とどのように推移しているのか。

A：シルバーの仕事は2、3時間の短時間労働の仕事が主で部分的に民業の圧迫が見られるが、湯沢町の会員は12

0名、今冬に独居老人等の屋根除雪を依頼、ようやく3人1組の2班体制ができた。

Q：やすらぎ荘の利用を22年度も従来どおり行うのか。

A：文教施設の整備計画に合わせて移るまでの間は、今まで通りとなる。

Q：健康づくり推進費の自殺対策、新潟県が全国の自殺対策の前身は。

A：講演を予定し教育プログラムの作成を考えている。この自殺対策事業は、難しい分野でスタッフの研修とケアできる体制作りを県と一体的に進めたい。

Q：マンションの独居老人の福祉ケア問題が影響しているか。

A：1月の介護事業者のケア会議にこの問題の話し合いが行われた。病院を含めた各事業所からいろいろな課題の報告から容易に訪問できず安否確認が困難、訪問時の駐車スペースや個々に風呂がなく入浴サービスが不可、車椅子が入れないエレベータ、住民登録のない保険者のため、現状がわからない東京のケアマネージャーの介護計画に介護サービス提供者の困惑、孤独から長時間の話し相手をすなど多くの問題を抱えた報

告があった。

Q：温泉健康体操教室は、予算削減されているのか。

A：12月の提案を一旦取り下げ、インスタクター、アシスタントの報償費の据置、参加者の負担金の据置をした理由をこの事業での雇用の促進と自己の健康保持のためとした。

Q：子供の医療費の予算見込みが過大だったことや健康診断の21年度予算見込みが多かったとの説明があったが影響はないか。

A：ないと思う。

Q：社会福祉協議会への2800万円の補助金の根拠は。

A：局長以下4名の人件費、ボランティアの助成、社協事業の補助で基金積立金を200万円減額した。

Q：子宮頸がん予防接種は中学1年生が対象とあるが、2、3年生は。

A：2、3年生も対象に検討し、保護者の意見を聞き、取り組みたい。

Q：健康倶楽部湯沢が受託しているお達者クラブの実態は。

A：中里の瑞祥庵を会場に中里地区の老人に閉じこもり予防、元氣確認等に介護保険事業から予算を計上して運営している。

Q：現体制で今の活動が保持